

第3 障害者スポーツ文化センターラポール運営事業

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール・ラポール上大岡は「リハビリテーションサービスの向上」「豊かな人生への支援」「共生社会実現への取組」を基軸としながら、障害者の多様化するニーズに即した事業を実施します。

事業の実施にあたっては、これまでに蓄積したノウハウを最大限に活かしたプログラムの展開、地域資源との連携を強化した取組、障害者のスポーツ・文化活動に関する積極的な情報の発信に努めます。

横浜ラポール・ラポール上大岡における今年度の重点項目は、次の3項目です。

- 障害のある方がラポールを継続利用できるように、利用方法の助言等、いつでも相談ができる体制を強化します。特に、障害福祉サービス事業所、特別支援学校等の方が利用しやすいようコーディネートを強化します。【拡充】
- 他施設の利用が難しい重度障害のある方も安心して利用していただけるように、安全・安心で、「来てよかった」「また来たい」と思ってもらえるようなホスピタリティーあふれる施設運営を行います。【継続】
- 障害者スポーツ・文化活動の中核施設として、培ったノウハウを地域の日中活動の場で活用してもらえるように支援を強化します。情報発信については、様々な障害に対応できるよう、各施設で工夫をしていきます。【継続】

1 スポーツ振興

- 支援者の発掘・育成を目指して、初級障がい者スポーツ指導員養成講座の開催回数を増加するとともに、育成した人材が重度障害者の支援場面でも活躍できる機会の創出を目指します。【拡充】
- 指導員の曜日・時間帯を固定することにより、継続的な支援体制を整備し、技術獲得や活動定着に配慮が必要な方に対応します。また、重度障害者の支援に取り組むとともに、利用者間の障害理解を促し、コミュニケーションの機会を創出して利用者満足度の向上を図ります。【継続】
- 障害福祉サービス事業所、特別支援学校等を対象とした出張指導や施設利用時の支援を強化し、障害児・者がスポーツ・レクリエーションに触れる機会を拡大して、日常的な活動として継続していくための助言や環境整備を進めます。【継続】

2 文化振興

- きっかけづくりから趣味を見つけられるプログラムの移行に向けて、質の高い体験プログラムの実施やワークショップを行い、プログラムの充実を図ります。【拡充】
- 重度障害者が、文化活動に取り組みやすい環境や鑑賞等サポート機器について、関連団体等と情報共有しながら整備を進めます。また、おもちゃ図書館では、重度障害児も楽しめるおもちゃを療育センターや作業所等にヒアリングして選定します。【継続】
- 障害のある方のモチベーション向上やステップアップにつなげるため、障害当事

者のアーティスト等が講師となるプログラムを継続的に実施します。また、障害者アーティストの発表の場の拡充にも努めます。【継続】

3 聴覚障害者情報提供施設

- 手話通訳者・要約筆記者の研修プログラムを充実させ、オンライン配信と集合形式のハイブリッド方式で安心かつ効率的に通訳者のスキルアップに努めます。また、音声認識技術の導入に向けて検討を進めます。【拡充】
- 介護保険事業所、ケアプラザ等地域の支援者対象の「聴覚障害者理解に関する出前講座」を継続し、啓発に取り組みます。その他、事業団紹介動画等の既存の動画に手話通訳を挿入し、ホームページ等で発信することで、事業の周知と利用促進を図ります。【拡充】
- 聞こえの相談事業について、引き続き実施体制の拡充を図るとともに、各種媒体を活用して周知に努め、より多くの相談に対応できるよう努めます。【継続】

4 ラポール上大岡

- 障害のある方のスポーツや文化活動・参加を支援する指導者・ボランティアの育成、スキルアップ研修会、活動報告会等の機会を創出します。【新規】
- 障害のある方が、身近な地域でスポーツや文化活動に親しめるように、横浜市スポーツ協会や地域の関係機関と連携し、地域資源を活用した教室・イベント等の開催に取り組みます。【拡充】
- 横浜ラポールとともに培ったノウハウや蓄積した情報に加え、国や関係機関・団体、さらに市内各地域の取組についても情報を収集し、それらを必要とする人、伝えたい人に伝わるよう、様々な方法で情報発信を行います。【継続】